

令和7年7月30日

南箕輪村議会議長 様

提出者名 都志今朝一

議員研修・議員視察結果報告書

研修名または視察テーマ	令和7年度 町村議会議員研修会
研修・視察実施場所	松本市 キッセイ文化ホール 大ホール
研修・視察の期間	令和7年7月14日（月）
研修・視察の成果等	地方創生のカギは議会にある。～議会改革度調査より～と題して、早稲田大学デモクラシー創造研究所 地域経営部会長・一般社団法人Maniken 代表理事 中村 健氏による講演、以前の事が頭をよぎった。またデジメが不必要かと思ったが。今回はデジメ通りの講演を行ってくれた。各町村が持っている、地域課題から入り現在抱えている役場の課題、村役場に該等する課題の数々が思いあたる。次ぎには村の課題解決や未来の事はどこが決めているか、議会の議決権を解く。その他では、議員一人一人の考えを聴く、議員定数について・上下水道料金について・ゴミの分別についてなど問いかける。つぎの課題は、議会活動の起点についてを問いており、起点は公聴であり、聴き・研究・解決策を講じる・住民との共有（広報）住民の意見を大切にし供用する事の必要請を解く。その他議会は議事機関、話し合う。論議する。ファシリテーション。目的を達成するために必要なスキル。必要なものは、相談（情報共有）・連絡・報告未来に向けての話し合いが必要である。住民福祉の向上のためには、住民意識や価値観の変化のギャップを大きくしない取り組みが必要。最後に村行政運営を経営に置き替えて、現在の予算からゴールの決算に向けての取り組みまでを経営に例えての講義であり、充実した講義であった。

※研修・視察終了後、議長

令和 年 月 日

南箕輪村議会議長 様

提出者名 _____

議員研修・議員視察結果報告書

研修名または視察テーマ	
研修・視察実施場所	
研修・視察の期間	
研修・視察の成果等	「生成ＡＩ」の衝撃。人工知能時代をどう生きるか」と題して、日本科学技術ジャーナリスト会議 会長 室山哲也氏による講演。現在の日本社会のＡＩ化の実状について聞き、ＡＩへの対応・応用の難しく感じているが現実。ＡＩへの向き合い方（生成ＡＩ）に対しての扱い方などが解らないのが現実。ＡＩの利用による弊害等も心配にもなる。利用できる人とできない人との格差社会が進行することも心配。利用する人の常識が必要と思う。人間とＡＩで信頼もてる利用が必用であり、より一層対応の勉強が必用。現在では対応は無理と感じている。

※研修・視察終了後、議長または委員長が定めた期日までに提出すること。